

登録コード	J6911300	開講年度	2026				
授業科目	法務特別講義*（先鋭領域融合群講義（先端科学技術概論））					担当教員	丸橋 昌太郎
英文授業名	Advanced Science and Technology					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限 水曜・6時限	対象学年	（20カリ対象科目）法：3年
講義室	経法第1講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」			【授業の達成目標】		
		経法20加・総合法律					
		環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。			現代社会の日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム		ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース					
(4)授業の概要		地域の課題は、一つの分野だけで解決できることはほとんどありません。これらの多様な専門分野が力を合わせたときに、はじめて真の解決につながります。 本授業では、信州大学の教員が取り組む課題をベースに、各専門分野の思考方法等を幅広い分野から講義する。					
(5)授業計画		1 ガイダンス 2 科学技術総論 3 情報工学分野の現在 1 4 情報工学分野の現在 2 5 先端医療分野の現在 1 6 先端医療分野の現在 2 7 地域デザイン分野の現在 1 8 地域デザイン分野の現在 2 9 データサイエンス分野の現在 1 10 データサイエンス分野の現在 2 11 地域法務の現在 1 12 地域法務の現在 2 13 ロボティクス分野の現在 1 14 ロボティクス分野の現在 2 15 まとめ、授業アンケート					
(6)成績評価の方法		各分野の授業内で出す課題の取り組みで評価する。 成績評価は、絶対評価（60点～可、70点～良、80点～優）と相対評価（上位10名を秀）とする。					
(7)成績評価の基準		科学技術に関する必要最低限の知識と考え方を身につけており、授業中に示される事例の問題点を指摘できるようになれば、授業の達成目標に達したといえる（60～69点）。過不足のない知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析できるようになれば、水準よりも上回る（70～79点）。十分な知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析でき、解決まで考えられればさらにその水準を上回る（80～89点）。それ以上の理解・分析・解決ができ、実生活で実践できれば卓越している（90点以上）。					
(8)事前事後学習の内容		授業内で指示する。					
(9)履修上の注意		特になし。					
(10)質問,相談への対応		授業内で対応する。					
【教科書】		特になし					
【参考書】		特になし					